

四日市支部だより



昭和シェル社友会 四日市支部

支部ホームページ : <http://www4.cty-net.ne.jp/~y-shayki/index.html>

2024年度

緊急連絡者会議を開催

開催日 : 2024年3月21日(木) 10:30～
 場所 : 塩浜クラブ3F和室
 出席者 : 11名(欠席者7名)

会議では2023年度中の緊急連絡の状況と緊急連絡方法の確認が行われました。

1. 2023年度の緊急連絡の実施状況

2023年度中に連絡いただいた物故会員…16名

2. 新入会員の報告

2023年度…なし 2024年度…3名

3. 担当連絡先の一部変更

会員の逝去等による異動があり、担当会員数の平均化を目的に各緊急連絡者の担当する連絡先会員を一部変更しました。

これにより個々の会員への連絡では、今までとは別の緊急連絡者に変わっている場合があります。

4. 緊急連絡範囲

訃報連絡等でご遺族が全支部会員への伝達を辞退された場合は、緊急連絡員までの連絡にとどめます。

5. 緊急連絡方法の確認

- (1) 固定電話…e-mail等の登録のない方には、緊急連絡員から電話します。留守番電話設定の場合は、メッセージを残すので折り返して返信連絡をお願いします。受信拒否設定の場合は、再度の連絡は致しません。
- (2) FAX…発信者(緊急連絡員)・受信者ともにFAXがある場合のみ使用します。
- (3) PCまたはスマートフォンへのe-mail
メールアドレス登録済みの方には、事務局から発信します。PCは毎日起動をお願い致します。

会員の動き (敬称略)

◎支部会員数 284名 (5月1日現在)

◎新入会者 (3月31日付け)
 伊藤 禎規・加藤 隆英・村木 敏夫

◎お悔やみ

平野 太七	2023年 12月30日 (91歳)
已上 一志	2024年 2月 1日 (89歳)
藤田 卓弘	2月17日 (83歳)
河村 鯉年	4月 5日 (72歳)

(4) スマートフォン等のSMCの使用

事務局から緊急連絡員への急ぎの連絡等の場合のみに限って使用することがある。

(5) ガラ携のメール…原則として利用しない。

(6) LINE…当面は使用しません。

2024年度の緊急連絡員 17名 (敬称略)

今村 茂・今村 高明・尾崎 誠・和 平一郎
 川村 雄二・岸本 敏和・佐々木 充・杉野 清和
 竹永 尚之・寺本 光宏・豊田 昭夫・安田 洋一
 山崎 一
 支部全幹事(溝川紳一・市川義行・藤波耕三・谷崎雅敏)

★ 9年間に難うございました。

退任 : 佐合 香さん

※ 地震・風水害等の天災や火災等に被災された場合、支部幹事又は緊急連絡員までご連絡願います。

2024年度 年間活動計画

次の行事を計画していますので、多くの方々のご参加をお願いいたします。詳細は、「支部だより」やEメール等でその都度お知らせいたします。

- (1) 全国大会
 - ・全国大会 : 6月26日(火) 東京・ホテル「グランドヒル市ヶ谷」東館2F「白樺」14:00～
 - ・日帰り観光 : 6月27日(水) 催行人員に達せず中止となりました。
- (2) 夏季懇親会 9月 7日(土) …予定 会場 : 四日市市内
- (3) ハイキング会 (秋) 11月 9日(土) コース未定
- (4) 忘年会 12月 7日(土) …予定 会場 : 四日市市内
- (5) 社会貢献活動 ・REI募金 旅行会、夏季懇親会、忘年会時に実施予定
- (6) 「四日市支部だより」の発行予定 年4回 (1月、4月、7月、10月)
- (7) 支部ホームページの更新 各月の初～中旬、アドレスは支部だより題字下欄に記載。
- (8) 幹事会の開催 : 年9回(原則、毎月第3木曜日、休会は2月、6月、8月)
- (9) 同好会
 - ◎ゴルフ部 … コンペ 10月、中部支部との交流コンペ 9月
 - ◎ウォーキング部 … 原則毎月第2土曜日
 - ◎つり部 … 釣りを年に数回

2024度 支部総会・新春懇親会

コロナを克服・嬉しい再会!!

開催日 : 2024年2月10日(土) 11:00～
 場所 : 昭四日市石油(株)塩浜クラブ
 来賓 : 昭四日市石油(株) … 5名
 取締役執行役員
 四日市製油所所長 榎 啓 様
 本社環境安全室長 木村 明弘 様
 管理部副部長 山崎 拓也 様
 製造部長 福間 秀文 様
 製造副部長 長谷川 誠 様
 兼製造一課長



参加者 : 33名 (姓のみ・敬称略)

井川・池田(久)・市川(義)・伊藤(勝)・伊藤(滋)

伊藤(恭)・大倉・菟山・菊島・岸本・喜吉・黄田・小林(信)・佐合・佐々木(充)・佐藤(弘)・塩野・島田(進)

田中(昭)・谷口・谷崎・中村(軍)・中村(衛)・橋本・濱田・早津・原川・藤波(耕)・堀(清)・溝川・光本

・山崎(嘉)・山田

BCPセンター(新事務所)をバックにして

支部総会は、2020年(令和2年)の開催を最後に、コロナへの対応から総会資料の郵送へと変更していました。今回は4年ぶりの開催となり、久しぶりに懐かしく顔を合わせる方も多かったのではないのでしょうか。コロナの中、大きく様変わりした生活習慣も少しずつ以前の姿に戻れることを期待しています。

例年の2月初旬は小雪が舞うこともある寒さだが、暖冬の影響でか日差しも暖かく、申し分のない良いお天気に恵まれました。早くも10時頃から徐々に参加者の皆様が来場され、11時の定刻には全員が揃いました。

今回は、総会を1階のエネルギー教室で新春懇親会は2階ホール開催しました。総会と新春懇親会が別会場となり、以前のように会場の準備や模様替え・参加者の移動等の混雑が緩和されました。

支部総会は定刻の11時から始まり、最初に溝川支部長から社友会、昭四日市石油(株)と出光興産(株)の動きの話がありました。

続いて長寿慶祝会が行われ、今年度の慶祝対象者、米寿8名、喜寿2名の方々を代表してご出席の黄田さんへ支部長より慶祝金への贈呈されました。

その後、2023年度経過、会計、監査の報告、2024年度の活動計画と予算等の説明がありました。そして、会計監査が佐合さんから菊島さんへ交代することが報告され、退任と就任の挨拶がありました。また、質疑応答の中で、社友会HPが最新セキュリティソフトに拒否されて閲覧できない問題が提起され、本部でHPのセキュリティレベルをアップすることで解決しました。

総会の後、ご来賓の皆様と一緒に集合写真を撮り、2階ホールの懇親会場へ移動し、司会者の開会宣言と来賓の方々の紹介の後、副支部長より4年ぶりの開催で再会の喜びと更なる親睦を深める機会とするともに、製油所の皆さんとの交流の場として

いただきたいとの話がありました。続いて、ご臨席の榎製油所長殿よりご挨拶を頂戴しました。自己紹介では、1989年に出光興産(株)入社で愛知製油所で研修を受け、その後千葉事業所、北海道製油所、徳山事業所での勤務を経て、最近では経営企画方面の業務が主でしたが、2年前に四日市製油所へ赴任されました。四日市製油所の状況は、昨年末にはRHDSが計画外停止となりましたが、今後、2025年、2026年と大きな定修を控えており、四日市製油所の先輩方の知識、技術を財産として受け継ぎ、安全安定操業に努めたいとの話がありました。

続いて、井川さんから元気いっぱい乾杯の音頭を頂戴し、にぎやかに懇親会が始まりました。以前は「魚市」に和食の出前料理を注文していましたが、今回は「ニューポート」の洋食ベースのケータリングサービスに変更し、以前と比べて料理の内容と雰囲気も変わりましたが、あちらこちらで談笑の輪ができ、久しぶりの再会を楽しんでいました。

宴もたけなわの中、愛知県半田市から参加の伊藤(恭)さんの発声で中締めとなりました。皆さんは名残惜しそうにしながらも、次回の再会約して会場を後にされました。

(記 : 幹事 市川さん)



黄田さんへ長寿慶祝金の贈呈



懇親会の風景

支部事務局の開局日を変更

インターネットやスマートフォン等で通信連絡が容易となったことから、塩浜クラブ3階の「四日市支部事務局」の開局日を変更させていただきます。

開局日 : 第1木曜日・第3木曜日

事務局連絡先 : 市川 義行 副支部長(事務局担当)

☎059-370-0705 ☎090-2614-1826

e-mail qw5y-ickw@asahi-net.or.jp

春の日帰りバス旅行

かかみがはら航空宇宙博物館と
うだつの上がる町並み

1. 開催日 : 2024年4月16日(火)
2. 行程 : 近鉄四日市駅8:30--四日市東IC==<東名阪・名二環・名古屋高速・名神・東海北陸>==岐阜各務原IC--かかみがはら航空宇宙博物館(10:00~11:30見学)--岐阜各務原IC==<東海北陸>==美濃IC--長良川畔・緑風荘(昼食12:10~13:20)--うだつの上がる町並み散策--フェザーミュージアム・刃物会館--関IC==<東海北陸・名神・名古屋高速/名二環・東名阪>==四日市東IC--近鉄四日市駅17:15
3. 参加者 13名 : 池田・市川(義)・大倉・喜吉・塩野(敬称略) 小林(信)・谷崎・寺本・中村(衛) 橋本・藤波(耕)・溝川・山崎(嘉)

少しあやしい空模様の中、近鉄四日市駅西から小豆色の新しい中型バスに乗車して定刻通りに出発し、名阪・名古屋高速等を経由し、一路「かかみがはら航空宇宙博物館」を目指して進みました。時間通りに到着し、屋外展示場の飛行機をバックに集合写真を撮りました。

博物館に入ったすぐの天井部に浮かんでいたのは、米国のライト兄弟によって人類初の動力飛行に成功した飛行機のレプリカです。

この博物館には、実機が約40機、レプリカが15機ほど展示されており、航空機が好きな人には堪らないスペースだと思いました。



航空宇宙博物館の屋外展示場で
後方左は、戦後日本で開発・量産された旅客機YS-11A-50R
後方右は、川崎航空機ライセンス生産のV-107-Aヘリコプター

航空宇宙博物館をのの見学後、昼食会場である長良川畔「緑風荘」を目指しました。目の前に清流「長良川」、近くには「美濃橋」と眺めの良い料理屋さんでした。眺望の良い2階の部屋でおいしい料理を頂きました。昼食にはお酒も出て、和やかに歓談しながら一息入れました。「緑風荘」を後にし、次に岐阜県美濃市の「うだつの上がる町並み」の散策です。「うだつ」は屋根の両端を一段高くした延焼防止の防火壁のことで、江戸時代に商人の町だった美濃市には、この「うだつ」が多く残っています。最後に関市の刃物会館を見学しましてから帰路につきました。心配された天気も傘をさすこともなく、良い一日でした。(記：幹事 市川さん)

春の支部ハイキング会

久居藩 5万石を歩く



高通児童公園(旧久居陣屋跡)

1. 開催日 : 2024年5月11日(土)
2. ルート : 近鉄「久居駅」→ 子午の鐘 → 高通児童公園 → 真光寺 → 玉淀寺 → 近鉄「久居駅」 約 8 km
3. 参加者 10名 : 市川(義)・伊藤(利)・伊橋(敬称略) 喜吉・塩野・高木・伝田 中村(衛)・中村(軍)・福本

良いお天気に恵まれた「支部ハイキング会」は伊勢の国・津藩(32万石)の支藩となる久居

藩の旧跡を訪ねることとした。初代久居藩主は「藤堂高虎」の孫で「藤堂高通(とうどう たかみち)」である。

少し肌寒いと感じる中、久居駅西口からコース地図を手に出発しました。歩いてすぐのところに「浄福寺」がありました。境内を拝観してから歩を進めました。気が付いたのは、道路路肩の歩行ゾーンのカラー舗装に可愛いイラストや案内用の文字シートが一定区間ごとに貼られていたことです。また、この辺りは城下町の町家のエリアにあり、伊勢～奈良を結ぶ「奈良街道」が通っていたので多くの旅人が泊まった名残か、旅籠町という町名になっていました。

少し歩くと久居八幡宮という立派な神社がありましたが、参拝はせず会釈だけで前を通り過ぎ、最初の目的地「子午の鐘(ときのかね)」を訪れました。入口は狭く、民家に囲まれた中にあるので、周囲からはほとんど見えないところに位置していました。この鐘は、もとは武家屋敷の中大手町にあり、時を知らせる鐘として元文元年(1736)に作られたもので、寛政元年(1789)に今の位置に移されました。

次に休憩もかねて「高通(たかみち)児童公園」を訪れました。この公園は、かつての久居陣屋の一角にあり、久居の歴史に包まれた御殿山として、また桜の名所として、市民に親しまれており、遊具も設置されて小さい子供さんを連れた近所の人との交流の場にもなっているようでした。ここで十分な休憩を取った後、再出発しました。

道筋に大きな山門のお寺が見えてきました。青龍山千手院賢明寺です。楼門脇の格子中には可愛らしく、親しみある顔の阿形、吽形の仁王像が鎮座していました。

そして、近くの川併(かわい)神社に参拝し、境内をお借りして昼食としました。差入れのシャンパンやチョコに舌づつみを打ち、話が弾む楽しいひと時でした。その後、久居駅までゆったりと散策しました。(記：幹事 市川さん)

同好会だより



ウォーキング部

2024年1月初詣

お伊勢さん「外宮」 - 「内宮」 両参り

1. 開催日 : 2024年1月13日(土)
2. ルート : 近鉄伊勢市駅～伊勢神宮・外宮～伊勢神宮・内宮
～五十鈴公園～近鉄五十鈴川駅
距離 : 約 11.0 km (15,000歩)
3. 参加者 8名 : 市川(義)・伊藤(利)・伊橋・喜吉・中村(軍)
(姓のみ・敬称略) 中村(衛)・中村(軍)・福本・濱田(一)

2024年辰年の初詣ウォーキングは伊勢神宮で決まり。午前10時、伊勢市駅前集合する。駅前では正月を祝って獅子舞が披露されていた。円陣を組み「明けましておめでとう、今年もよろしく」と声を掛け合って出発。駅からの参道を進み、奥に鎮座する外宮と言われる「豊受大神宮」に参拝する。衣食住、産業の守り神として崇敬されていて多くの参拝客で賑わっている。



三重の酒蔵が献上の酒樽の前で

外宮へ参拝後は内宮に向かう。内宮へ最短距離の御木本道路を南進する。この日は寒の最中とは言えさほどの冷え込みもなく、ウォーキング日和である。内宮入口の宇治橋に到達したのは11時40分、五十鈴川の水はいつもながら澄み切っている。橋の袂には四季桜が満開であった。宇治橋を渡り、玉砂利を敷き詰めた参道を歩く。杉の大木や照葉樹林の中を歩いていくと清々しい感覚が深まっていく。

内宮は「皇大神宮」と称され、およそ2000年前から五十鈴川のほとりに鎮座し、皇室の祖先であり我々国民から総氏神のように崇められる天照大御神が祀られています。参道を15分ほど歩いて正殿に到達する。各自それぞれの思いで参拝する。参道沿いに献上された三重の酒の樽が並べられていた。その前で集合写真を撮る。

宇治橋を渡り返して、混雑するおはらい町で赤福とお神酒を買って、陸上競技場のある五十鈴公園で車田に座りお神酒でカンパイをする。御酒も美味しかったが赤福も美味しかった。一時間ほどの時を過ぎて近鉄五十鈴川駅に向かい14時過ぎの電車に乗り帰宅の途に就く。(ホームページ掲載の濱田一さんの原文から要約)

2024年2月例会

松阪城址を訪ねる

1. 開催日 : 2024年2月17日(土)
2. ルート : 近鉄松阪駅～愛宕川を下流へ～国道23号沿い～坂内川
上流へ～鈴の森公園～松坂城址～岡寺山継松寺～近鉄松阪駅
距離 : 約 12.0km (17,000歩)
3. 参加者 8名 : 伊藤(利)・伊橋・喜吉・高木・中村(軍)・中村(衛)・福本
(姓のみ・敬称略) 濱田(一)



松坂城址の石垣

松阪は、城下町であるとともに商業の盛んなところで三越や三井財閥の三井家の発祥地でもある。松阪の町を歩き城址を訪ねることとした。

松阪城は、蒲生氏郷が築城し、旧領の近江国の日野から商人を町の中心部に呼び寄せて日野町とし楽市楽座を設けた。また、湊町に伊勢大湊の豪商角屋氏を呼び寄せ、これにより商都松阪の礎が築かれたもので、後に、紀州藩に属して陣屋が置かれた。

2024年4月例会

岐阜県本巣市・根尾谷淡墨桜のお花見

1. 開催日 : 2024年4月5日(金)
2. ルート : 近鉄桑名駅⇄養老線大垣駅⇄樽見鉄道樽見駅
～根尾谷淡墨桜～樽見駅⇄桑名駅
距離 : 約 4.0km (7,000歩)
3. 参加者 7名 : 伊橋・喜吉・谷口(文)・中村(軍)・中村(衛)
(姓のみ・敬称略) 福本・濱田(一)

※ 根尾谷の淡墨桜 : エドヒガンザクラの品種で、国の天然記念物、高さ17.3m、幹回り 9.4m、樹齢1500年以上とされ、日本三大桜の一つに数えられている。

見事な容姿の淡墨桜の前で
(右が天然記念物の老木・左がその子桜)

連絡先 : 福本 泉 さん TEL059-321-6869